

平成30年度 門川町立門川小学校 自己評価書

学校の教育目標「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 子どもの育成」

重点目標〔 1 基礎学力の定着 2 基本的な学習習慣の定着 3 読書活動の推進 4 基本的な生活習慣の定着 5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進 〕

【 4段階評価： 4～期待以上 3～ほぼ期待通り 2～やや期待を下回る 1～改善を要する 】

重点目標	目標達成のための手段(評価指標)	具体的な取組・手立て	数値目標等		分析・考察・改善策等
			評価指標	総合	
1 基礎学力の定着	(1) 分かる・できる授業の充実	① 特別支援教育の視点を取り入れた学習環境や授業づくりの推進 ----- ② 「かどがわ5段階授業モデル」の確実な実施	* CRT (標準学力検査) ・平均得点率の全国平均との差(点) [目標値]国語±0・算数±0 H30: 国語△-2.2・算数○1.0 (H29: 国-1.8・算1.3) ・評定1出現率(%) [目標値]国語10.0%以内・算数10.0%以内 H30: 国語△18.8%・算数△14.3% (H29: 国10.2%・算10.5%)	2	△ 校内研究や学習指導部の取組等により学力向上に取り組んできたが、CRTの結果は国語・算数共に前年度の数値を下回った。特に国語は前年度より0.4ポイント低下し、ここ数年伸び悩んでいる。算数は上向きの傾向にあったが、今年度は前年度より0.3ポイントの低下となった。全国平均より1ポイントは高いが足踏み状態である。また下位層の割合が増加しており、次年度はより一層、学力向上への取組に尽力していく必要がある。 ○ 授業における学習態度指導の徹底及び家庭学習の習慣化と内容の充実については、児童の意識も向上しており、今後も家庭との協力を高めながら、一層の定着を目指し取り組んでいく。
	(2) 学習内容の定着を図るための補充指導の充実	① 「パワーアップタイム」における補充指導の充実 ----- ② 学期末補充学習・「サマースクール」の充実	◇ パワーアップタイムにおける複数の教員による指導 進級式算数の問題の整備 ----- ◇ 1学級における複数の教員による指導	3	
2 基本的な学習習慣の定着	(3) 基本的な学習習慣の定着	① 授業における学習態度指導の徹底(聞く態度、姿勢、学習の準備)	* 児童自己評価「ほぼ毎時間しっかり聞いている」 [目標値]95%以上 → H30: △94.8% (H29: 94.7%)	2	○ 児童の図書委員会や読み聞かせボランティアの活動等により、読書冊数が増えてきた。図書室の利用もさらに推進していく。
		② 家庭学習の習慣化と内容の充実	* 児童自己評価「宿題・宅習：ほぼ毎日提出している」 [目標値]95%以上 → H30: △94.5% (H29: 93.7%)		
3 読書活動の推進	(4) 読書活動の推進	① 学校における読書活動の充実 ----- ② 家庭における読書の推進	* 1か月の読書冊数[目標値]25冊以上 H30: ○33.8冊 (H29: 29.5冊) * 1年間の年間貸出冊数[目標値]30冊以上 H30: ○34.2冊 (H29: 38.7冊)	3	○ 児童の図書委員会や読み聞かせボランティアの活動等により、読書冊数が増えてきた。図書室の利用もさらに推進していく。
4 基本的な生活習慣の定着	(5) 学校における基本的な生活習慣の定着	① 率先あいさつ・廊下歩行・整とん・無言清掃の指導の徹底	* 児童自己評価 「ほぼしっかりとやっている」[目標値]85%以上 ・あいさつ: ○91.3%・ろう下歩行: △80.3% ・無言清掃: ○90.3%・整とん(くつ箱): ○92.6% ・整とん(トイレスリッパ): △84.3%	2	○ 児童の委員会の呼びかけや教師の指導等により、児童の意識は向上してきている。しかしまだ十分な定着がなされておらず、さらに日常指導を徹底していく。
	(6) 家庭における基本的な生活習慣の定着	① 家庭との連携による取組の推進 メディアコントロール・睡眠時間の確保(時計・鞆)・望ましい食生活習慣(ご飯)	◇ 町PTA研修大会における講演(香川憲一氏)、本校PTA図書部による発表 ◇ 保健日より・参観日等での啓発 ◇ 生活リズムカードの配付・回収		
5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進	(7) 家庭における共通実践事項の取組の推進	① 家庭における共通実践事項の取組の推進～子どもの成長を支え育む“かどがわ4か条”～ ----- ② PTA活動のとの連携による取組の推進(ラジオ体操の推進、家庭教育学級の開催等)	* 家庭における共通実践事項の家庭自己評価 ・メディアに関する約束の設定「設定している」 [目標値]全校80%以上 → △69.3% (H29: 72.3%) ・家読の時間の設定「設定(週3～月1)している」 [目標値]全校60%以上 → ○71.4% (H29: 57.7%)	2	○ 「子どもの成長を支え育む“かどがわ4か条”」ポスターを全家庭に配付し、共通実践事項としてメディアに関する約束と家読の時間設定に取り組んだ。目標達成までには程遠いが、家庭への意識付けは図れたと考えている。今後もPTAと連携しながら家庭への啓発を図っていく。 ○ ラジオ体操については、地域の協力者が増えている。今後もPTAと連携を図って啓発していく。
校長所見	本年度はこれまでの取組を継続しながら、児童の学力向上や基本的な生活習慣の向上などに努めてきた。読書については学校や家庭での取組により向上が見られたが、CRT(標準学力検査)の結果は国語・算数ともに前年度より低くなり、さらに評定1出現率が増加した。この結果を真摯に受け止め、今後の対策を全職員で検討しているところである。来年度は、本年度の反省を活かし、より一層、指導の徹底を図っていきたい。				